

第22回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集

【テーマ】

進化する農へ挑戦 創ろう 活かそう 価値を未来へ ～生命を育む「食」、食を生み出す「農」、環境を守る「農山漁村」～

【趣旨】

私どもヤンマーグループは、日本農業が転機を迎えていた1990(平成2)年、厳しい中にも21世紀への夢と希望を持ち、先駆的な挑戦を試みる元気な農家やその集団が全国各地に誕生しつつあることに気づき「いま 日本の農業がおもしろい～その変化と対応～」を当社のスローガンとして、積極的に未来を語りエールを送ってまいりました。

その一方で、次代を担う若者たちに農業と農村の未来について大いに議論していただくこととして始めたのが、「学生懸賞論文・作文募集事業」でした。

その後私どもを取り巻く環境も大きく変わり、議論のテーマも「食料の自給、農業の再生、都市と農村の暮らし」等へと変わってきました。

現在、日本の国内のみならず世界レベルで、食料・資源エネルギー・環境・地球温暖化等の問題がクローズアップされています。そのため、論文・作文のテーマを平成20年から、「農が変わる 農が応える 今 未来への布石を」とし、一層の議論の輪を広げてまいりました。

当社も、日本の農業が変わり行く中、「その変化と対応」を実行し、「未来への布石」を打ってまいりました。そして、様々な進化していく新たな「農」へ挑戦していくとともに、ソリューション活動により、新たな価値を創造し、お客様の収益の最大化を追求し続けております。

日本の農業は、今まさに、次の展開へ新たな一歩を踏み出そうとしております。

私どもは、進化する「農」を、未来へ繋いでいくという想いから、この度、新たなテーマを掲げました。そして、論文・作文では、学生の皆様に進化する「農」を、広く自由な観点で論じていただくために、引き続き副題として

～生命を育む「食」、食を生み出す「農」、環境を守る「農山漁村」～

を掲げております。

本事業も今回で22回目を迎えます。夢と若さのあふれる提言を数多くお寄せいただきたいと思います。と存じます。

○論文の部

上記テーマに沿って、21世紀の日本農業の確立をめざした“先駆的挑戦”を内容とした論文を、農業経営、育種・栽培技術、生産機械・施設システム、食品加工、市場・流通機構、農業政策、農村文化・社会、都市と農山漁村の関係など、あなたが学習・研究しているさまざまな分野から独自の構想で提言し、その実現の過程、手法を論理的に述べてください。

たとえば、次の様な論点も今日的切口として参考にいただければと考えます。

<あなたの独自のテーマ例 又は 内容>

- 1) 農の本質と日本農業の将来ビジョン
- 2) 地球的視野に立ったあるべき農業国際協力
- 3) 環境保全に資する農業技術の発掘と創造
- 4) 文化の創造と農山漁村の役割
- 5) 都市と農山漁村の共生
- 6) 生きがい農業・趣味的農業の社会的価値
- 7) 農業経営におけるドメインの拡大とマーケティング戦略
 - －生産性からCS(顧客満足)・市場(顧客)創造まで－
 - －消費者ニーズに対応した真に豊かな食生活の提供－
- 8) 農業・農村の活性化・食の安全性に資する健全なフードシステム
- 9) 望ましい食生活と農業のあり方
- 10) 食品リサイクルと循環型社会
- 11) 子供の農業体験・農業後継者育成の為の教育システム
- 12) 農業経営における女性パワーの役割
- 13) 輸出・知的財産といった攻めの農業
- 14) 自給率向上運動

その他“将来の夢の農業”の創造・提案など、あなたの独自のテーマを設定して論文にまとめて下さい。

○作文の部

上記テーマに沿って、あなたの感じていること、夢や思いを、これまでの体験や、その時の情景を描写しながら作文にまとめて下さい。

第22回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集

【論文の部 応募要領】

■応募資格

- 大学、大学院、短期大学、農業大学校、農業短期大学、各種専門学校に在籍する30才以下（平成23年10月20日現在）の学生。ただし、外国からの留学生は35才以下。
- グループによる共同執筆も可。
- 過去に論文の部で入選された方の応募はできませんが、農業大学校、農業短期大学の学生で、過去に作文の部で入選された方が、論文の部に応募することはできます。

■応募規定

- 応募作品は本人のもので、未発表かつ日本語で書いたものに限る。
- ワープロに限る。
 - ・A4判用紙を使用し、1枚につき800～1,200字以内。
 - （総字数換算で8,000字以上、12,000字以内・添付資料は字数に含まない）
 - ・横書きに限る。

■提出方法

- 郵送での応募のみ受け付けます。
- 次の1)～6)の順に綴じて提出して下さい。
 - 1)表紙
弊社ホームページからダウンロードした様式を印刷して使うか、または、「応募申込用紙」に必要事項を記入の上、A4判用紙に貼付けて下さい。
 - 2)論文要旨
A4用紙1枚、1,200字以内にまとめて下さい。（要旨に図表は使わないで下さい）
 - 3)目次
 - 4)論文本文（必ずページを打って下さい）
本文にはタイトルのみ記入して下さい。（学校名、氏名は記入しないで下さい）
 - 5)本文中に入れられなかったデータ・図表等（A4サイズ）
 - 6)参考文献は著者名、題名、出版社名、刊行年、参考頁の一覧を必ず明記して下さい。

■表彰・賞金

- 大賞 1編 賞金 100万円（賞状、記念品）
 - 特別優秀賞 2編 賞金 30万円（賞状、記念品）
 - 優秀賞 10編 賞金 10万円（賞状、記念品）
- ※なお、応募規定・提出方法に合致した方には、記念品を贈呈いたします。

第22回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集

【作文の部 応募要領】

■応募資格

- 農業大学校、農業短期大学に在籍する25才以下(平成23年10月20日現在)の学生。
- 外国への留学生、外国からの留学生の応募も可。
- 過去に作文の部で入選された方の応募はできませんが、農業大学校、農業短期大学の学生で、過去に論文の部で入選された方が、作文の部に応募することはできます。

■応募規定

- 応募作品は本人のもので、未発表かつ日本語で書いたものに限る。
- ワープロに限る。
 - ・A4判用紙を使用し、1枚につき800～1,200字以内。
 - (総字数換算で2,800字以上)
 - ・横書きに限る。

■提出方法

- 郵送での応募のみ受け付けます。
- 次の1)～2)の順に綴じて提出して下さい。
 - 1)表紙
弊社ホームページからダウンロードした様式を印刷して使うか、または、「応募申込用紙」に必要事項を記入の上、A4判用紙に貼付けて下さい。
 - 2)作文本文(必ずページを打って下さい)
本文にはタイトルのみ記入して下さい。(学校名、氏名は記入しないで下さい)

■表彰・賞金

- 金 賞 1編 賞金 30万円 (賞状、記念品)
- 銀 賞 2編 賞金 10万円 (賞状、記念品)
- 銅 賞 10編 賞金 5万円 (賞状、記念品)
- 奨励賞 15編 (賞状、記念品)

※なお、応募規定・提出方法に合致した方には、記念品を贈呈いたします。

第22回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集

【応募時期・発表】

- 応募期間は、平成23年6月1日(水)～10月20日(木)で当日の消印有効です。
- 入選者は、平成23年12月下旬にご本人宛に通知し、平成24年1月下旬東京で開催の入選発表会にて表彰いたします。
- ※なお、2月中旬頃に当社のホームページに入選結果を掲載いたします。

【審査】

■最終審査委員(五十音順、敬称略)
岩田 三代(いわた みよ)
日本経済新聞社編集局生活情報部編集委員
[食・暮らし]

梅田 幹雄(うめだ みきお)
京都大学キャリアサポートセンター特任教授
京都大学名誉教授
[農業機械工学]

佐藤 年緒(さとう としお)
(独)科学技術振興機構(JST)
「Science Window」編集長
日本科学技術ジャーナリスト会議 副会長
[環境・科学技術]

生源寺 眞一(しょうげんじ しんいち)
名古屋大学大学院教授
[農業経済学]

矢澤 進(やざわ すすむ)
京都大学名誉教授
京都学園大学教授
[農学]

- ※応募作品は社内で一次、二次審査を行い、上記の最終審査委員による最終審査をいたします。
- ※但し、作文の部 奨励賞につきましては、社内二次審査で決定いたします。

【応募先】

〒530-8311 大阪市北区茶屋町1-32
ヤンマー株式会社
ヤンマー学院内「学生懸賞論文・作文募集係」宛

【問い合わせ】

フリーダイヤル 0120-376530(月～金 10:00～17:00)
E-mail: ronbun@yanmar.co.jp
当社ホームページ(<http://www.yanmar.co.jp>)には、第18回～21回入賞作品集を掲載しております。

第22回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集

【その他】

- 応募作品は返却いたしません。(作品の所有権は主催者に帰属いたします)
- 応募作品の著作権を含むすべての著作権利は、主催者に譲渡継承されます。
- 入賞者の権利の譲渡は認めません。
- 入選発表会参加にあたり、肖像権は主催者に帰属いたします。
- 応募にあたり記入頂いた個人情報は、審査結果通知に付随する事項を行うためのみに利用します。
- 入賞者の学校名・学部・学年・氏名は公表します。

【主催・後援】

- 主催 …… ヤンマー株式会社
- 後援 …… 農林水産省
財団法人 都市農山漁村交流活性化機構
社団法人 全国農村青少年教育振興会